

# よのこ山! 本校の先輩達

それぞれの学校には、必ずといっていいほど美術作品が展示されています。地域の方や卒業生の方からの作品寄贈であったりします。本校には、昭和5年度卒業生の錦織恭一氏の作品が複数残されています。体育館には平田の漁村風景の絵画が、校長室には高原の風景の絵画が、そしてふれあい広場には、現校舍新築記念モザイク壁画デザインが残されています。

今回、本校の先輩である錦織恭一氏の略歴について、恭一氏の甥御さんにあたる錦織慶直さん（共栄自治会）のご協力も得て、調べてみました。

## 【錦織恭一氏の略歴】

大正 8年 (1919)	荘原町に生まれる
昭和 6年 (1931)	荘原村立尋常小学校卒業
昭和11年 (1936)	旧大社中学校卒業し、旧島根師範学校へ入学
昭和16年 (1941)	須田国太郎氏に師事、京都で絵画研究を行う
昭和19年 (1944)	旧島根師範学校研究科卒業
昭和25年 (1950)	独立美術協会会友となる
昭和39年 (1964)	島根県保育専門学院助教授
昭和48年 (1973)	県立女子短期大学助教授・教授
昭和62年 (1987)	県立女子短期大学名誉教授
平成13年 (2001)	島根県民会館で「画業60年展」を開催
平成17年 (2005)	米寿記念展を開催
平成21年 (2009)	90歳で永眠

【『島根県人名鑑』山陰中央新報社 平成4年10月刊から】



【▲体育館の作品「漁村」】



【▲校長室の作品・大山】

ふれあい広場にあるモザイク壁画のタイトルは「平和と飛翔」（鳥と花）です。新校舎で学ぶ荘原の子ども達が、健やかにそしてのびのびと育ててほしいという願いが込められた表現です。デザインは錦織恭一氏、工事は池淵徳蔵氏が関わられました。



両者とも昭和6年3月の本校卒業生であり、作品デザイン・工事はすべて新校舎竣工を記念して寄贈していただいたものでした。

【◀ふれあい広場の壁面デザイン】